粘り強く 市政動かす

日本共産党の4議席

小田桐たかし

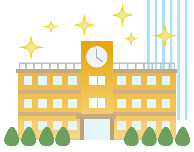
植田和子

高橋あきら

いぬいえり

教育

老朽校舎 全面リニューアルへ



子ども達や保護者と共に老朽校舎対策を訴えて13年、ついに江戸川台小学校の校舎全体のリニューアル工事が実現。さらに、東小学校と流山小学校のリニューアル工事も始まります。ところが、新設校との格差が縮まると思いきや、市教育委員会はリニューアル工事と引き換えに給食調理場の廃止・統合を決めました。校舎の格差は縮まりますが、食育の学校間格差は広がるのではないでしょうか。

フリースクール 利用者支援が実現

子どもの不登校は10年で3倍（全国）と急増し、市内でも426名（24年度末）となっています。

受け皿の一つとなっている「フリースクール」。日本共産党が20年前から求めてきた公費助成が実現しました。

運動公園周辺地区開発

地権者も市民も犠牲に…

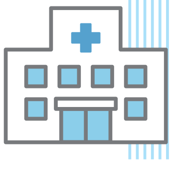
セントラルパーク駅や運動公園周辺の区画整理事業を施行する千葉県。事業期間は当初12年間でしたが、再々延長され、現在28年目。進捗率（面積ベース）は52%です。また事業に対する市負担額は23億円増額され、167億円にも。

「残り6年で完成」と言いますが、明るい兆しは見えません。

さらに緑地が無くなることに

医療

危機打開へ 力をあわせよう



医療機関の経営が深刻に。167病院の約73%が赤字に（24年厚労省調査）。診療報酬の引き上げが不可欠です。

市議会予算委員会では「救急医療体制の維持・充実について」、「夜間小児救急をはじめ、救急医療の持続的な体制確保について」が一致し、市長へ要望しました。

くらし

下水道料金 値上げストップを

公共下水道の料金値上げ案（15～25%の値上げ）が提案されました。八潮市陥没事故を例に維持管理の経費捻出のためとしています。

しかし『下水道ビジョン（2023）』では「10年間の料金見直しは行わない」としていました。また上水道は経営が良好で、2018～22年には一般会計と下水道会計に合計45億円の資金移動も。

日本共産党は、上水道会計の利益の一部を活かして値上げ回避を提案しました。

高齢者 負担増

後期高齢者医療保険料が年平均1万4千円も値上げに。低所得者ほど重い負担感です。日本共産党は議会最終日、唯一討論を行い、反対しました。

防災

防災行政無線の強化を

防災行政無線デジタル化移行が県内はほぼ完了する中、唯一、流山市だけがアナログ方式。「屋外の拡声支局」79基の維持管理計画はなく、非常時に72時間稼働できるのも1基のみ。防災「軽視」に真の安全・安心は築けません。

2026年第1回定例会　星取表

会派	日本共産党				流政会								自民党		公明党				流山みらい									
議員名 ○賛成　×反対　－棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾 えり	高橋 あきら	植田 和子	小田桐 仙	小沢 えみり	川本 大岳	渡辺 仁二	近藤 みほ	石原 修治	坂巻 儀一	笠原 久恵	青野 直	中川 弘	海老原 功一	桑畑 伴子	岡 明彦	戸辺 滋	野村 誠	うた 桜子	西尾 段	中村 彰男	藤井 俊行	楠山 栄子	清水 大	鈴木 ゆうすけ	矢口 輝美	森田 洋一	阿部 治正
令和8年度一般会計予算（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和8年度後期高齢者医療保険特別会計予算（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
国連憲章と国際法の遵守を強く求める決議（否決）	○	○	○	○	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
非核三原則の堅持を求める意見書（可決）	○	○	○	○	×	×	×	○	長	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
物価高騰を超える老齢基礎年金額の引き上げを求める意見書（可決）	○	○	○	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○